



2025年2月19日

各 位

会 社 名 GFA 株式会社  
代表者名 代表取締役社長 片田 朋希  
(コード：8783、スタンダード市場)  
問合せ先 経営企画部 部長 谷井 篤史  
<https://www.gfa.co.jp/form/corp/>

「長期ビジョン・中期経営計画」に関するお知らせ

当社は、2026年3月期から2028年3月期までの3ヵ年を対象とした当社の今後の事業戦略を踏まえた「長期ビジョン・中期経営計画」を策定いたしましたので、お知らせいたします。

本件の詳細につきましては、別添の「長期ビジョン・中期経営計画」をご参照ください。

以 上



# 長期ビジョン・中期経営計画

2025.02.19

GFA株式会社 証券コード：8783

# 未来を金融で支える

GFAは、web3を中心に、あらゆる顧客の資金需要を即時解決するとともに、SDGsを重視しながら、世界に存在意義のある事業の創造にコミットメントする会社です。

現実社会で成長可能性のある、あらゆる事業をDX化し、伝統的金融手段と最先端の高度なファイナンスを事業ストラクチャーに組み込むことで、仮想空間と現実社会を行き来できる、デジタルツインを体現し続ける会社であり続けます。

---

## TABLE OF CONTENTS

---

- 01 長期ビジョン
- 02 中期経営計画
- 03 5つの具体的アプローチ
- 04 免責事項

## 長期ビジョン

# GFAはweb3.0の コングロマリット企業へ

GFAは、ビットコイン並びにクリプト市場の成長を前提に戦略を組み立てます。特にクリプト市場の筆頭である、ビットコインはここ13年であらゆる金融商品の時価総額7位まで一気に盛り詰めています。

さらにアルトコインやミームコインの登場で富の移転が加速しており、投資/金融の民主化と分散化が指数関数的に進んでいます。

次の10年に向けて私たちGFAは、ビットコイン保有量の最大化を図りながら、あらゆる産業にブロックチェーンの技術・クリプトの思想を導入し、各産業の発展をサポートしていきます。

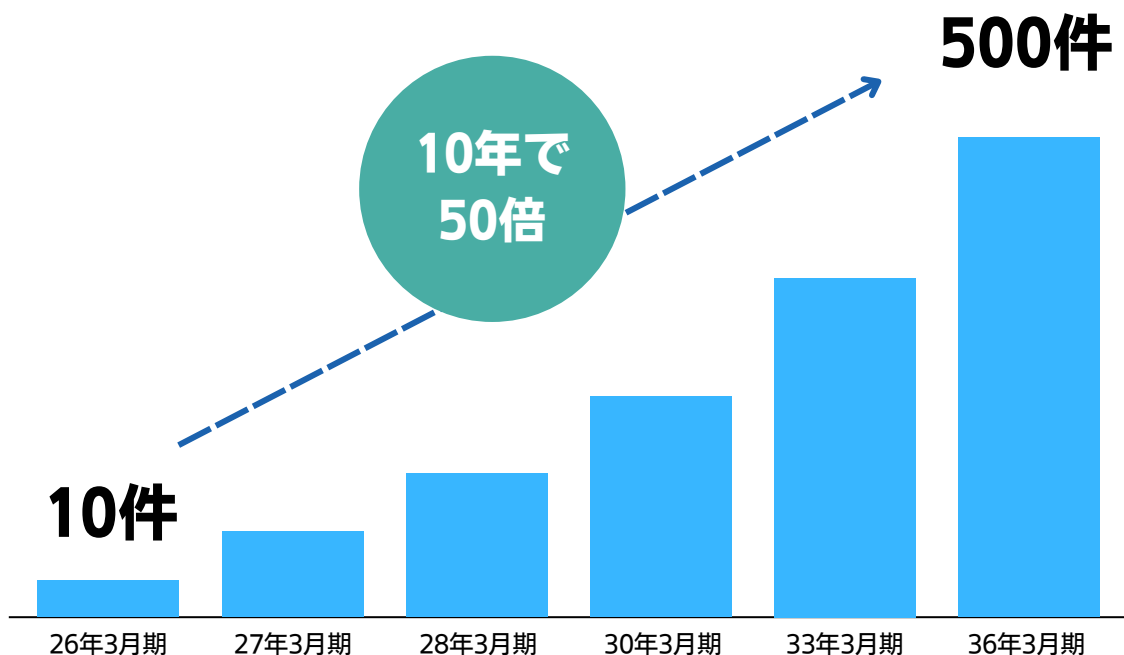
# クリプト支援で国内トップを目指す

KPI

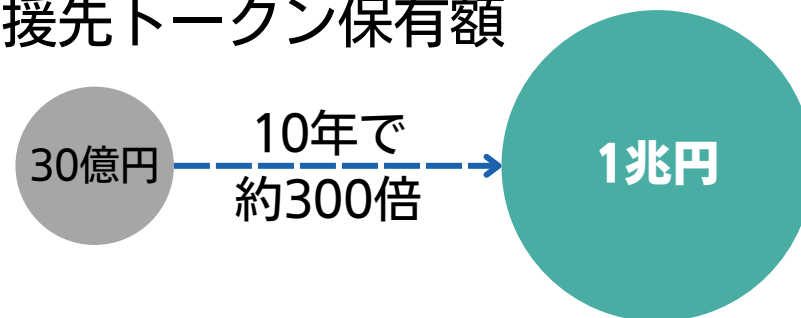
支援/投資先プロジェクト500件、支援先トークン保有額1兆円  
21,000 BTC保有

クリプト系のプロジェクトへのベンチャー投資・既存投融資先のweb3化などを行い、クリプト系VCとして投資案件を最大化しながら、注力プロジェクトに関しては積極的な介入でマーケティングやリスティング支援などを行い、プロジェクトの支援数並びに時価総額向上のサポートを行う。

## 投資/支援件数



## 支援先トークン保有額



## BTC保有量



21,000 BTC保有

トレーディング

# 中期経営計画

2026年3月期 - 2028年3月期

企業時価総額  
1兆円計画

# Crypto-PBRで企業価値向上を目指す

## 新経営指標

Crypto-PBRとは、企業が保有する暗号資産の評価を反映したPBR指標であり、以下の式によって算出されます。

$$\text{C-PBR} = \frac{\text{GFA社-時価総額}}{\text{保有暗号資産価値}}$$

## 企業の暗号資産運用パフォーマンスを可視化

### 判断材料

C-PBRの導入により、投資家は従来の株式市場の評価基準では捉えきれなかった暗号資産の影響を考慮し、企業価値をより適正に評価できるようになります。

- 運用が成功している場合・・・C-PBRが上昇し、企業価値が向上
- 暗号資産が下落している場合・・・C-PBRの下落率を分析し、適切なリスクヘッジができているかを確認



## 中期経営計画 - GFA時価総額1兆円計画

BTC/トークン投資を加速させるために、売上基盤の強化と積極的な調達を実施

事業売上金を基本として積極的な投資を行い、自社マーケでの価値向上を目指す

支援トークン1兆円+21,000BTC保有

長期目標へのステップ

本中期経営計画で時価総額1兆円の突破を目指す

BTC及びトークンの積極的な投資/ディーリングのために、まずは調達環境を整える必要があるため、時価総額をKPIに設定。

「(調達+売上) × トークン価値向上」

事業売上と調達資金の積極投資を行い、その投資先トークンをマーケティングによって価値向上を目指す

プレクリプト事業

(メイン)事業売上

不動産・金融・M&A

+

(サブ)資金調達

第三者割当増資、新株予約権など

トークナイズ事業

クリプト化

- ・トークンコンサルティング
- ・トークン/スマコン開発
- ・クリプトCVC

クリプト事業

クリプト運用

- ・ディーリング事業
- ・メディア事業
- ・バリデーター運用
- ・取引所運営
- ・クリプトAIエージェント  
開発・運用

# 中期経営計画 - 5つの具体的アプローチ

## トークン原資の増加

### 1 web3事業の拡大

資金確保

トークン設計上場支援、スマコン開発、コンサルなどの売上から投資原資を獲得。さらにM&AやECサイトのweb2事業をweb3化し、収益向上を目指す

+

### 2 ディーリング

原資の最大化

短期収益を狙ったディーリングを行い、BTC購入原資を増加。下落時にはDEXでのデルタニュートラル戦略などを用いてリスクヘッジを行う。

×

## トークン価値の向上/安定

### 3 メディアマーケ

価値向上支援

質の高いユーザー集めと、プロジェクトへの総客支援を実施。

+

### 4 取引所運営/提携

投資機会最大化

CEX/DEXの運営に携わり、ユーザーの取引環境/機会の最適化を図る。

+

### 5 バリデータ運用

安定運用

長期保有トークンの有効活用並びにネットワーク効果の実現を図る。

## 資金確保

# WEB3.0事業支援でキャッシュエンジンを作る

### 目標

- ・キャッシュエンジンの創出
- ・トークンによるインセンティブ獲得

web3.0事業者の支援を行うことにより、ストックの収入を得ながら、インセンティブ報酬として、プロジェクトで発行されるトークンをSO的に取得する。

## [各施策の具体的な内容と目的]

### トークン発行/上場支援

トークン発行を計画/実行するweb3事業者に対して、トークノミクスの設計や開発、および取引所への上場の支援を行う。

#### 目的

- ・トークン案件の開拓/受注
- ・トークンインセンティブによるトークン保有量の最大化
- ・トークン上場による価値向上

### スマートコントラクト開発

スマートコントラクトの開発を中心に、ウォレットやマーケットプレイスなどの開発および支援を行うことで、プロダクトの発展に貢献する。

#### 目的

- ・開発案件の受注
- ・技術ナレッジの蓄積

### 既存投融資先のweb3化支援

GFAが既に投融資を行っているweb2.0企業に対して、web3.0導入によってシナジーを生み出し、企業価値向上を目指す。

#### 目的

- ・新規支援企業の開拓
- ・グループシナジーの最大化

### 原資最大化

# 暗号資産ディーリングで資産を最大化

#### 目標

- ・短期運用による運用額増加
- ・ポートフォリオ最適化

暗号資産の積極的な短期ディーリングを行うことで、収益機会の最大化・ヘッジ運用を実現し、資産の最大化・ポートフォリオの安定/最適化を図る。

### [各施策の具体的な内容と目的]

#### ミームディーリング

爆発的な成長が見込めるミームコインに投資を行い、短期的な収益を狙うディーリングを行う。

#### 目的

- ・短期収益の向上

#### デルタニュートラル戦略

HyperLiquidなどの新興DEXを駆使して、原資産の変動リスクを最小化した上で、デリバティブの歪んだ金利を狙っていく。

#### 目的

- ・下落相場でのヘッジ
- ・低リスク高リターンの金利運用

#### AIポートフォリオ

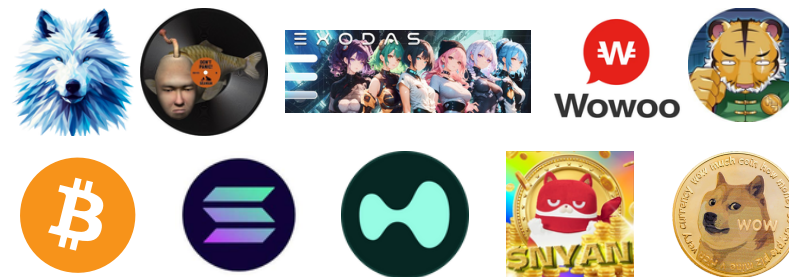
市場トレンドや最新情報を学習したAIエージェントによる暗号資産ポートフォリオ診断により、ポートフォリオの最適化を図る。

#### 目的

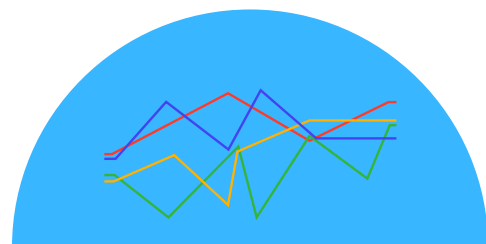
- ・収益性向上
- ・ポートフォリオの最適化

# GFA銘柄を日本の暗号資産投資の最先端に

GFAは現在bitcoin(\$BTC)やSolana(\$SOL)などのメジャー通貨を戦略的準備資産としながら、NYANMARU Coin(\$NYAN)をはじめとする有力ミームにも投資を行っています。今後も有力なトークンには投資を続けながら、一般ユーザーにも浸透させるために、インデックスやETFの組成を行い、多くの投資家を呼び込むことを目指します。



### ミームロードマップ

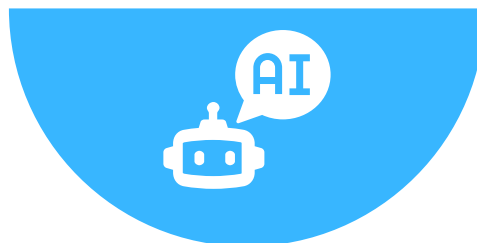


#### GFAミームindexの導入

DogeやNYANMARU Coinなど、GFAが評価をしているミームに対して点数をつけ、通常のみームコイン投資よりもハイパフォーマンスになるようなポートフォリオ組成を行う。

トレーダーZ氏や過去のビッグデータをAIに学習させ、GFAミームindexの改善・ブラッシュアップを行い、よりよいパフォーマンスを目指す。

#### AIによる最適化テスト



#### ミームETFの組成

ミームコイン投資は操作が難しいなどのハードルがあるため、GFAミームindexに連動するETFを組成し、参入ハードルを下げ、より多くの投資家へ参入機会を提供することを旨とする。

GFAミームindexおよびミームETFの見直しをAIエージェントによって自動で実行し、常に最新/最適な状態での投資機会を提供する。

#### AIによる自動調整



### 価値向上支援

# メディアの力でトークン価値を向上

#### 目標

- ・ GFAメディアのPV向上&送客支援
- ・ コミュニティメンバーの増加及びロイヤリティー向上

メディアとコミュニティを運営することにより、投資家の注目を集め、各プロジェクトの認知を高める。質の高い情報を配信し、ユーザーのロイヤリティーを向上させ、プロジェクトに質の高いユーザーの送客に繋げる。

### [各施策の具体的な内容と目的]

#### 独自メディアの構築

ビットコインやミームコインなど、市場全般の動向をレポートする独自webメディア及び動画メディアを構築し、各トークンの認知度向上に繋げる。

#### 目的

- ・ 相場分析/戦略の投稿と共有
- ・ 各トークンプロジェクトの宣伝
- ・ PV向上による広告費の獲得

#### 独自コミュニティの運営

トレードやweb3.0開発に関心の高い層を集めたコミュニティを運営し、1次情報を共有することでロイヤリティーの高いコミュニティの構築を目指す。

#### 目的

- ・ ロイヤリティーの高いコミュニティの構築
- ・ 1次情報の収集と配信
- ・ トークンプロジェクトとの提携

#### 支援先のメディア構築

GFAが支援・投資を行うプロジェクトのマーケティング支援の一環としてメディア構築のサポートを実施。

#### 目的

- ・ クライアントプロジェクトの認知度向上
- ・ メディア構築支援の受注による売上確保

### 投資機会最大化

# 取引所の買収などにより、 投資家/ユーザーに最高の 取引環境を提供する

#### 目標

- ・上場支援数の最大化
- ・取引高/流動性の向上

CEX・DEXの運営に携わり、支援プロジェクトの資金調達  
上場機会・流動性向上などのサポートを図る。

### [各施策の具体的な内容と目的]

#### CEXの買収

国内および海外で取引所を運営する企業の株式を取得し、経営参画を図る。トークン上場や流動性向上のサポートを実施する。

#### 目的

- ・支援トークンの上場サポート
- ・支援トークンの  
マーケットメイキングサポート

#### DEXとの提携

DEXのガバナンスを行うDAOと提携を図り、GFAからガバナンスへ提案を行い、より使い勝手が良く流動性の高いDEX構築をサポートする。

#### 目的

- ・DEXのガバナンス参加による  
手数料収益の確保
- ・透明性の高い取引の実現

#### ローンチパッド構築

ミームコインを簡易に作成できるソリューションを実装し、プロジェクト支援のサポートを円滑にします。

#### 目的

- ・投資機会の最大化
- ・トークン開発支援の効率化

## 運用の安定化

# エコシステム貢献で、運用に安定性を

### 目標

- ・バリデータ報酬の獲得
- ・流動性提供による手数料収益
- ・クリプトネットワークへの参画

保有するトークンを有効活用できるネットワークを築き、運用の収益性/安定性を高める取り組みを実施。シナジーのある企業を巻き込みネットワーク効果を図る。

## [各施策の具体的な内容と目的]

### バリデータノード運用

Solana(\$SOL)を大量に保有しながら、実際にノードを立ててネットワークに参加し、エコシステム貢献により報酬をもらうことを目指す。

#### 目的

- ・エコシステム貢献による収益向上
- ・バリデータネットワークへの貢献と参加

### 流動性提供による金利運用

主にDEXにおいて、長期保有分のトークンを流動性プールに預け入れることにより、取引手数料による収益機会を狙う。

#### 目的

- ・流動性提供による収益向上
- ・プロジェクトの流動性向上

### 提携企業の誘致

バリデータや流動性提供に興味のある企業を誘致し、エコシステムに引っ張り込むことで企業シナジー創出とプロジェクト価値向上を図る。

#### 目的

- ・プロジェクト参加者の最大化
- ・企業誘致によるコラボ実現



## 中期経営計画

# Crypto CVC戦略

従来のコーポレート・ベンチャー・キャピタル（CVC）モデルを進化させ、「Crypto CVC」戦略を導入します。本戦略では、既存の投融資先をWeb3事業に変革するとともに、コラボレーションと投資を通じてWeb3事業の拡大を加速させることを目的としています。

# 中期経営計画 - web2事業のweb3化～不動産金融～

ブロックチェーン技術で加速するDX

## 1 不動産投資のトークン化

小口化・流動化により個人投資家の参入ハードルを下げ、新たな資金調達機会を創出。

## 2 スマートコントラクト導入

賃貸契約や分配金管理を自動化し、コスト削減・スピード向上を実現。

## 3 既存MA実績の再活用

過去に買収・提携した不動産会社やファンドの案件で、ブロックチェーン技術を導入してバリューアップ。



**GFAが得意とする不動産金融・MAノウハウに、WEB3技術を掛け合わせることで資金流動性を高め、成長余地を拡大。**

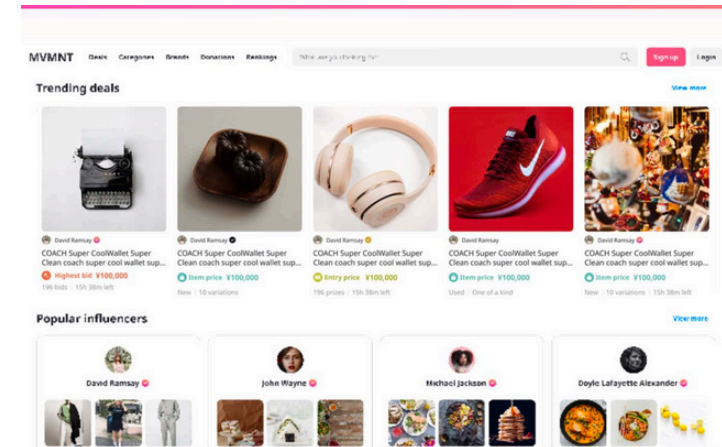
# MVMNT×GFA コラボレーションで切り拓く WEB3マーケットプレイス

### 「MVMNTとGFAの戦略的連携」

- 暗号資産決済×寄付機能×キャッシュバックの次世代マーケットプレイス
- コミュニティ拡張を狙うNYANMARU Coin (\$NYAN) とのコラボ
- GFAが開発・支援することでWeb3エコシステムを拡大

寄付機能付き暗号資産決済が創造する新たな社会価値

GFAが得意とする不動産金融・MAノウハウに、WEB3技術を掛け合わせることで資金流動性を高め、成長余地を拡大。



# M&A戦略で本業を黒字化し、WEB3で飛躍。 そしてビットコインを積み上げる

- GFAは多角化した各事業で、まだ黒字化に至っていない領域を抱えている
- M&A実績を通じて、不採算事業の統合・再編・バリューアップを図り、全セグメントを黒字化させる
- さらにWeb3文脈を取り入れることで、従来の事業モデルを飛躍的に伸ばし、持続的な成長を達成
- 最終的に得られた収益をビットコイン等に再投資し、グループ資産を強化する

### STEP 1

#### M&Aで既存事業の黒字化

- 既存セグメントの課題を分析  
適切なターゲット企業を買収/  
統合し、経営資源・ノウハウを  
融合
- アライアンスや不採算部分の整  
理も含め、確実な収益化へ導く

### STEP 2

#### Web3で更なる飛躍

- 黒字化した事業にブロックチェ  
ーン技術を組み込み、サービス  
付加価値を増大
- 例：不動産事業のトークン化、  
ゲーム事業のトークン報酬…
- MVMNT等のプラットフォーム  
と連動することで、収益機会を  
拡張&ユーザー体験を革新

### STEP 3

#### ビットコイン蓄積

- 成果として得られた利益やトー  
クン、キャッシュフローの一部  
をBTCに振り向け、長期保有
- BTC保有量を拡大し、市場価値  
の上昇や暗号資産ディーリング  
でさらなるリターンを狙う

M&A→本業黒字化→Web3導入→クリプト資産蓄積、という循環を築くことで、  
**GFAは時価総額1兆円や21,000BTC保有**といった目標を実現し、  
多角化×デジタルの時代における“Web3コングロマリット”へ進化していく

# 中期経営計画 - エコシステム

## GFAエコシステム全体図 ~600万人超の全ユーザーがWeb3へ



# 中期経営計画 - 各社のWeb3シナジー

関連会社・事業	Web3連携のポイント	投資家メリット
ネクスト・セキュリティ (サイバーセキュリティ)	暗号資産決済プラットフォームの安全性強化 / 不正検知・情報漏洩対策をグループ全体に展開	暗号資産やスマートコントラクト活用時のリスク低減 →安心して新規事業を拡大できる基盤
CAMELOT (ナイトクラブ)	NFTチケット販売 (MVMNT連携) / 暗号資産決済・寄付機能との連動	若年層集客 + メタバースイベントで新規ユーザー獲得 → グループ全体の認知度・付加価値アップ
Book&Bed (ホステル)	宿泊NFT券や暗号資産決済導入	観光&インバウンド需要にWeb3を結合 → 新しい宿泊体験で収益多角化
GFAフーズ (飲食事業)	NFTメニュー、デジタルクーポン、暗号資産払い時のキャッシュバック	飲食へのWeb3導入で客単価向上&差別化 → 安定収益源の強化
GCMS1証券 (クラウドファンディング)	暗号資産決済を活用したファンド組成 / 投資家保護+透明性あるWeb3仕組み	国内外投資家を呼び込み手数料収入拡大 → グループ案件への資金流入増
クレーンゲームジャパン (「クレマス」)	景品やポイントをNFT化 / MVMNT上で二次売買を可能にする	eスポーツ×メタバース連動で若年層ユーザー拡大 → 課金+二次流通による収益源アップ
ルミライズ (再生医療)	MVMNTやCFで研究費調達 / 暗号資産保有層からの資金サポート	ハイリターンの可能性のある医療分野 → SDGs的意義で投資家層にもアピール
エムワン (育毛剤「M-1」)	サブスク購入者にNFTや報酬特典	ECビジネス拡大+ロイヤル顧客確保 → 利益体質を底上げ
amica (マッチングアプリ「paters」)	ユーティリティトークン発行 / 若者向けアプリで暗号資産利用を促進	若者ユーザーをWeb3市場へ取り込み → 各サービスへの横断マーケティングを強化
Brave少額短期保険	Web3トラブルに対応する保険商品を検討 / 暗号資産決済保険などで差別化	暗号資産ユーザーのリスクヘッジ需要を取り込み → 金融サービスの信用力向上
N3 (キャラクターIP「BLUBEA」)	グッズやNFTをMVMNT上で販売 / メタバースイベントとのコラボ	エンタメ×Web3で若年層ファンを取り込み → グループに集客を波及
SATAS (LAETOLI) (不動産CF「WARASHIBE」)	MVMNT決済による投資参加 / セキュリティトークン発行で投資家拡大	不動産投資と暗号資産ニーズを結合 → GFA不動産金融ノウハウとブロックチェーンを融合
Earnest (中国向け音楽ライセンス)	音楽ライセンスをNFT化・暗号資産決済に対応 / メタバース内での音楽利用権管理	グローバル展開 (特に中国市場) + ライツ管理の透明化 → 新たな音楽ビジネスを創出
ADOLOGI(EC支援)	寄付機能付き決済を容易に導入 / 暗号資産連携で手数料収益拡充	EC事業者への金融・Web3ソリューション → 取引量増&顧客基盤拡大
IOS(地雷除去ロボット)	MVMNTやCFでプロジェクト資金を募る / 社会貢献と投資家コミュニティを結合	ESG投資需要を取り込む高インパクト案件 → GFAの社会的評価も向上

- 各事業がWeb3とのシナジーを形成することで、GFAは収益多角化・成長速度の加速を実現。

- (1)分散化によるリスク低減、(2)新規マーケットへのアクセス、(3)高付加価値サービスによる時価総額拡大が期待される。

# 免責事項

本資料は、当社の経営情報などの提供を目的したものであり、当社株式の購入や売却などの投資勧誘を目的とするものではありません。投資は、ご自身の判断のもと、ご自身の責任において行っていただくようお願いいたします。

本資料に記載されている事業計画、将来の見通しに関しては、資料作成時点で当社が入手可能な情報に基づき当社が合理的であると判断したものです。これらの将来の見通しは、市況や政治・経済状況などの様々な不確実性を含むものであり、その情報の正確性や完全性を保証しまたは約束するものではありません。



## 長期ビジョン・中期経営計画

2025.02.19

GFA株式会社 証券コード：8783